



【第292号 紙面案内】

第2面…大会主催校の紹介 第3～4面…各部会関連 第5～6面…各種お知らせ

第71回全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長 小沢 一郎（専修大学）

統一論題：『イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット』

日本マネジメント学会・第71回全国研究大会は、神奈川県川崎市に立地する専修大学・生田キャンパスにおいて、『イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット』という統一論題のもと、6月12日(金)から6月14日(日)までの3日間の日程で開催いたします。

今日、日本企業が活動している環境は、急激なスピードで大きく変化を続けており、平時では無く乱世と言って差し支えないでしょう。中小企業から大企業に至るまで、全ての企業に現状打破のイノベーションが求められています。南カリフォルニア大学リーダーシップ研究所初代所長のウォレン・ベニス（Warren Bennis）教授は「マネージャは管理し、リーダーは革新する」と言っていますが、まさに今、日本企業のリーダー達は企業規模に拘らずベンチャー・スピリットを心底に据えて、イノベーションを推進する必要があります。俗に「平時の能吏、乱世の雄」と言いますが、リーダーが「雄」としての役割を果たすことができるかどうかは命運を握っていると言っても過言では無いでしょう。そして、イノベーションを継続して成功に結び付けるためには、イノベーションをマネジメントする組織能力の涵養も必要となります。この様な認識から今回の統一論題を『イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット』と設定致しました。

また今回の全国研究大会では、この統一論題に鑑み、大会としても新しい試みを実施します。本学会の理念は「実・学一体の実践経営学」ですが、設立35年を迎えた本年、従来に増して実務家と研究者の一体化を体現すべく特別セッションを設けることとしました。学会員で実務経験豊富なパネラーの方々に、「経営現場から経営学に求める実践的課題」を投げかけて頂き、研究サイドからのコメントとフロアを交えたディスカッションをおこなう新たなチャレンジです。蕉門俳諧の理念「不易流行」を想起して下さいますと幸甚です。

さらに特別講演では、株式会社資生堂執行役員社長の魚谷雅彦氏を招聘し、「MARKETING AND INNOVATION（仮）」と題して、現在進行形のホットな経営状況と背景にあるお考えをご講演頂く予定です。

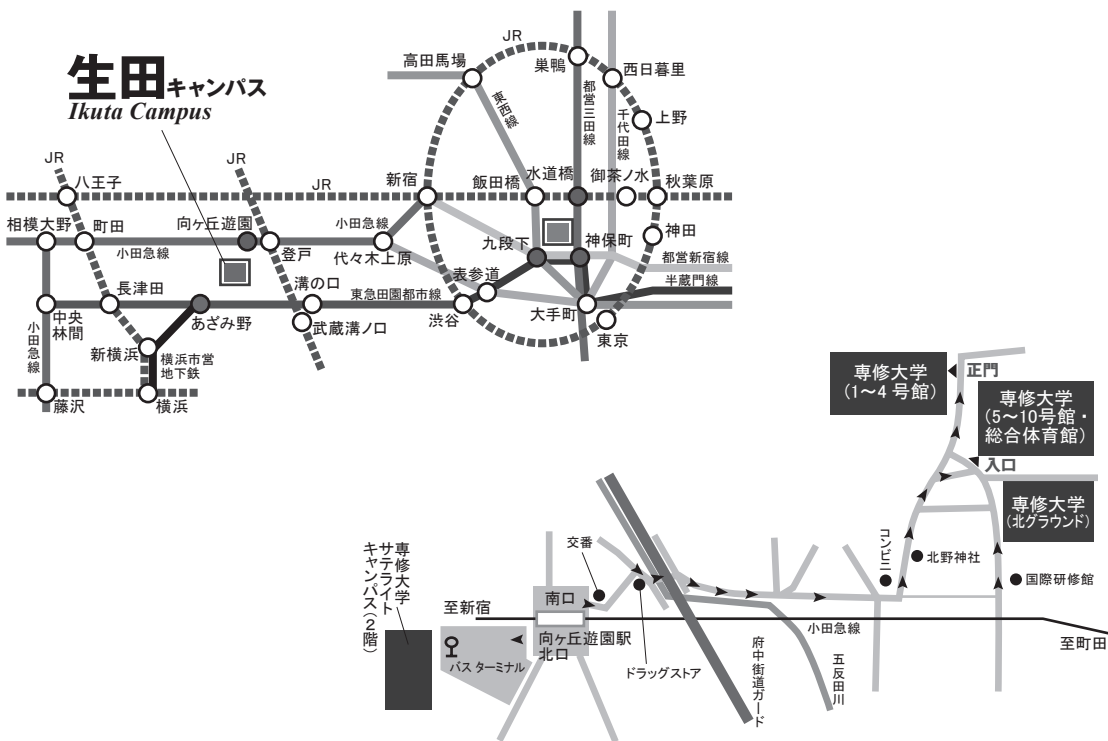
我々、大会実行委員一同、これら様々な工夫も盛り込みながら鋭意準備して参りますので、多くの皆様方のお越しを心よりお待ち申し上げます。

専修大学・大学紹介

1880年、相馬永胤、田尻稻次郎、目賀田種太郎、駒井重格の4人らの手によって専修大学の前身である「専修学校」が創設されました。「専修学校」は、日本で初めての経済科（現在の経済学部の前身）、私塾で初めての法律科（現在の法学部の前身）を設けた高等教育機関であり、この2つを両輪に日本の近代化を担う人材の育成を目指して参りました。本学は、この「経済」と「法律」を柱に、1962年には経営学部、1965年には商学部、1966年には文学部が設置され発展してきました。現在はさらにネットワーク情報学部、人間科学部も加わり、6学部17学科といった体制になっています。本学は、今年で創立53年を迎える経営学部と、今年で50周年を迎える商学部の2つのマネジメント関連学部を有しており、ゆえに、マネジメント研究／教育の充実に関し世に先駆けた存在と言えるでしょう。さらに、本学は、「報恩奉仕」の精神を建学の精神とし、また現在は建学から目指し続けてきた時代・次代を担う人材の育成を「社会知性の開発」と称し、時代を創る人材の育成をさらに探求しています。現在、本学は、千代田区神田神保町（神田キャンパス）と川崎市多摩区（生田キャンパス）の二ヶ所にキャンパスを有し、今回の第71回全国研究大会は、経営学部や商学部などが所在し、自然も美しい生田キャンパスで開催を致します。

本学生田キャンパスへは、小田急線をご利用ください。小田急線「向ヶ丘遊園」駅（新宿駅から急行で約20分）下車後、北口からバスで10分、あるいは南口から徒歩で約15分で本学となります（詳しくはアクセスマップをご覧ください）。生田キャンパス周辺の生田緑地は自然も美しく、また、岡本太郎美術館や日本民家園、藤子・F・不二雄ミュージアムなど芸術・文化施設が充実した地域でもあります。

会員の皆様のお越しを心よりお待ちしておりますと共に、開催校として万全の準備を整えお迎えできるよう尽力して参る所存でございます。



◇◇関東部会開催のご案内◇◇

開催校担当教員 上野 哲郎 (和光大学)

- 日 時：平成 27 年 5 月 9 日 (土) 14:00 ~ 17:30
- 場 所：和光大学 A棟 第4会議室 (10階)
- 報告プログラム ※報告：40分、コメント・質疑 20分

第1報告：14:00 ~ 15:00

報告者：大野 幸子 (和光大学)

テーマ：「感情心理アプローチによる、行動喚起を促す罪感情を取り込んだマーケティングへの戦略的適応」

コメンテーター：魏 鐘振(ウィ ジョンジン) (神奈川大学)

司 会：松本 潔 (産業能率大学)

第2報告：15:10 ~ 16:10

報告者：黄 賀 (成城大学大学院)

テーマ：「中国経済の成長と企業のグローバル戦略」

コメンテーター：池田 武俊 (千葉商科大学)

司 会：小森谷 裕志 (株式会社 ENSOU)

第3報告：16:30 ~ 17:30

報告者：芦澤 成光 (玉川大学)

テーマ：「ドラッカーの戦略の考え方」

コメンテーター：中村 公一 (駒澤大学)

司 会：高橋 衛 (浜松大学)

- 参加費等：参加費 1,000円、懇親会費 3,000円
- お問い合わせ：関東部会長・手塚 公登 (045-962-6181 tezuka@seiyo.ac.jp)

関東部会では随時報告者を募集しています。積極的なご応募をお願いします。
今回は、7月18日(土)に立教大学で開催の予定です。

◇◇中国・九州部会の開催報告について◇◇

篠原 淳 (熊本学園大学)

平成 27 年 2 月 28 日 (土) 13 時より九州産業大学において、日本マネジメント学会中国・九州部会が開催されました。当日の内容につきましては、次回の 293 号にて中国・九州部会会員より報告いたします。

◇◇中部部会開催のご案内◇◇

日本マネジメント学会中部部会では、経営行動研究学会、経営哲学学会との3学会合同で、下記のとおり第50回中部部会を開催いたします。皆様奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日 時：平成27年3月14日（土） 14:00～17:30

●場 所：中京大学名古屋キャンパス センタービル6階0604教室
〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 Tel 052-835-7111
（地下鉄鶴舞線『八事』駅5番出口前）
※駐車場は利用できませんので、公共交通機関をご利用下さい。

●プログラム

報告（報告35分、コメント10分、質疑15分）

第1報告：14:00～15:00 小野 琢（愛知産業大学）

「日本のCSR～その源流から経営自主体論へ（序論）～（仮題）」

司会・コメンテーター：堀田 友三郎（東海学園大学）

第2報告：15:00～16:00 渡辺 昭王（YOU-MORE 経営）

「シリアス製品に対するユーモア表現の受容性について

－ビジネス広告分野における実証研究から－

司会・コメンテーター：辻村 宏和（中部大学）

第3報告：16:15～17:15 櫻井 克彦（東海学園大学）

「現代の経営政策とステークホルダー・アプローチ」

司会・コメンテーター：中條 秀治（中京大学）

議事：17:15～17:30

中部部会長 堀田友三郎（東海学園大学）（0561-36-5555、hottat@tokaigakuen-u.ac.jp）

参加費等：参加費500円、懇親会費4,000円

懇親会参加と出席連絡のお願い：

終了後、センタービル2階教員食堂にて懇親会を開催します。

ご参加いただける方は3月6日までに、

中部部会事務局・藤木善夫（東海学園大学 みよし市福谷町西ノ洞21-233

TEL：0561-36-5555、fujiki@tokaigakuen-u.ac.jp）までご連絡ください。

お問い合わせ：詳細につきましては、上記藤木にお問い合わせください。

※中部部会では随時報告者を募集しております。ご希望の方も上記藤木宛お知らせください。次回は、平成27年5～6月に東海学園大学栄サテライトで開催の予定です。

（会報委員会より：中部部会の開催日が、会報発行日の後になる恐れがあるので、HPにて事前掲載致しました。また、開催事実の記録として掲載しております。）

第72回全国研究大会・自由論題報告募集

平成 27 年 10 月 23 日（金）～ 25 日（日）に香川大学において開催される第 72 回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

1. 応募資格

本学会の会員。ただし、1 年以内に報告された方の応募はご遠慮下さい。

2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本的経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

3. 応募書類

応募には表紙、報告要旨、参考文献の 3 点が必要です。

- ・表紙（A 4 サイズ 1 枚）……以下を必ず明記してください。
 - ①氏名（漢字・仮名および英語表記）
 - ②報告テーマ
 - ③所属（現職および職位）
 - ④連絡先（自宅および所属先の電話番号・FAX 番号、E-mail アドレス）
- ・報告要旨（A 4 サイズ、用紙縦置き横書きで 2 枚以内）
要旨には問題意識、論点、結論等を必ず含めてください。
 - ①字数は 2,000 字以内（40 字 30 行）、10.5 ポイント、余白は上下左右各 25 mm
 - ②報告テーマはゴシック体、要旨は明朝体
- ・参考文献（A 4 サイズ 1 枚）……書式は報告要旨に準じます。
参考文献は内容と密接に関係するものにとどめ、関係の薄いものは控えてください。
上記書類を下記締め切り期日必着にて電子メールまたは郵送でお送りください。

4. 締切

平成 27 年 6 月 30 日（火）必着

5. 応募先・問い合わせ先

日本マネジメント学会事務局（担当：武市）

〒162-0814

東京都新宿区新小川町 6-36 S & S ビルディング 3 F 株式会社山城経営研究所内

TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233 E-Mail : name@kae-yamashiro.co.jp

会費未納の方は至急納入下さい

平成 26 年度会費の未納者は、至急納入をお願い致します。

当学会は、会員の皆様方の会費で運営されておりますので、会費納入のご協力を切にお願い申し上げます。なお、会費の納入方法は、次のいずれかです。

- ① 郵便振込の場合（会報に同封の払込取扱票を利用すれば、振込手数料は学会負担となります。）

口座番号：00150-7-535064

- ② 銀行振込の場合

みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金口座 1388418

会費の自動引落しに関するお願いについて

会費の支払いに関しては、現在ゆうちょ銀行の自動引落し制度があり、100 数十名の方が登録をされております。今年は 4 月 10 日（金）に引落しがなされ、この日に十分な口座残高がないために引落しが出来ない場合は、4 月 27 日（月）に再度引落しがなされることになっております。

せっかく自動引落しの登録をされても、毎年 2 回の引落し日に引落しが出来ない方が多数おられますので、会費引落しが可能となるように残高を確認頂き、不足額がある場合には、引落し日までに必要金額を補充して頂きたくお願い申し上げます。

住所変更・勤務先変更等は速やかにご連絡ください

現在会報、機関誌、全国大会資料等は宅配メール便を利用して発送していますが、メール便は転居先には転送されませんので、事務局に返送されてくるケースがたびたび発生しています。住所変更のご連絡を頂けない結果、会報等の資料を会員の皆様に送付出来なくなることに加えて、会費のご請求書も送付出来ないなど、事務処理に大変支障が生じております。また住所変更、勤務先変更等の人事情報は、会員データの更新、維持、管理の点からも大変重要なことですので、人事情報の変更がありましたら、メール等により速やかに学会事務局までご連絡を頂きたくお願い申し上げます。

編集後記

今年度も最後の月となりました。会報の発行に際して、大きな遅れはありませんでしたが、皆様のお手元に届く時期が、各地域部会などの開催日と前後するような場合がございます。ぜひとも定期的に学会ホームページをご覧ください。また、第72回全国研究大会の報告者の募集も始まります。皆さま、奮って御応募下さい。（会報委員会）

発行 日本マネジメント学会
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36
S&Sビルディング3F
株式会社山城経営研究所内（担当：武市）
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: <http://www.nippon-management.jp/>
印刷 株式会社ドットケイズ TEL 03-5206-1626
E-mail: win@good-ks.co.jp